

地域芸能団体のための

助成金・補助金 さがし方ガイド

まずは、調べてみることから。

稽古を続けたい、道具を直したい、公演を開きたい、記録を残したい——
そんな思いを支える制度が、県・国・民間財団にたくさんあります。
このガイドでは、地域芸能に使える主な制度を「目的」と「時期」から探せるようにまとめました
。



このガイドの使い方

3つのステップで、自分たちに合う制度を見つけましょう。



STEP 1

目的から探す

「何に使いたいから」から制度を選びます(3ページ)。



STEP 2

募集の時期を確認する

いま募集中のもの、次に始まるものを確認します(4・5ページ)。



STEP 3

公式ページで最新情報を読む

制度ごとのページ(6～11ページ)の「検索」欄の言葉で調べ、募集要項を必ず確認します。

知っておきたい 3つのこと



お金は「あとから」が基本

多くの制度は、活動が終わって報告書を出したあとに支払われます(後払い)。それまでの費用は団体に立て替える必要があります。



申請先は制度ごとにちがう

財団へ直接出すもの、市町村や県を通すもの、推薦が必要なものがあります。市町村を通す制度は、市町村の締切が先に来ます。



募集はほとんどが年1回

締切を過ぎると次は1年後。募集が始まる1～2か月前から準備を始めるのがおすすめです。

ページ右上の色ラベルは、申請のしやすさの目安です。

はじめてでも

準備すれば届く

体制が整ってから

市町村が申請

目的から探す

「やりたいこと」に近いものを選び、右の制度名を詳しいページで確認してください。



子どもへの稽古・後継者を育てたい

- ・ 伝統文化親子教室事業
- ・ 明治安田 地域の伝統文化分野助成
- ・ ポーラ 無形の伝統文化に関する助成
- ・ 地域文化財総合活用推進事業



道具・衣装をそろえたい、直したい

- ・ 地域文化財総合活用推進事業(修理・新調)
- ・ コミュニティ助成事業(備品・市町村経由)
- ・ 芸術文化振興基金(衣装・道具の製作技術)



公演・発表会を開きたい

- ・ 文化活動支援助成事業(県文化芸術振興会)
- ・ 県立芸術大学芸術振興財団 助成
- ・ 三菱UFJ信託地域文化財団 助成
- ・ 那覇市・うるま市の補助金(市内団体)



映像や資料で記録を残したい

- ・ ポーラ 無形の伝統文化に関する助成
- ・ 芸術文化振興基金(民俗文化財)
- ・ 地域創造 地域伝統芸能等保存事業(市町村が申請)



途絶えた芸能を復活させたい

- ・ 伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム



団体の体制を強くしたい

- ・ 沖縄文化芸術の創造発信支援事業
- ・ コミュニティ活動促進事業(地域振興協会)



観光や他の分野と組みたい

- ・ 琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業
- ・ 沖縄県文化芸術活動の充実及び活用補助金



海外と交流したい

- ・ 三井住友海上文化財団 国際交流活動への助成

いま募集中・もうすぐ始まる制度

2026年10月1日時点の情報です。締切が近い順に並べています。

募集中(締切)

10/16

正午

沖縄県文化芸術活動の充実及び活用補助金

持参・郵送。次回は2027年9月頃の見込み

10/31

必着

全国税理士共栄会文化財団 助成

郵送。沖縄からは早めの発送を

11/12

17時

芸術文化振興基金・舞台芸術等総合支援事業

受付は10/30から。応募相談は10/29まで

11/30

必着

三井住友海上文化財団 国際交流活動への助成

県を通じて申請。県の締切はさらに早い

11/30

消印

三菱UFJ信託地域文化財団 助成

財団へ直接郵送

12/31

消印

明治安田 地域の伝統文化分野助成

県の推薦が必要。今すぐ相談を

もうすぐ始まる(見込み)

10月下旬～

伝統文化親子教室事業(令和9年度分)

令和9年度から事務局へ直接・オンライン申請に変わる予定

11月頃～

地域文化財総合活用推進事業

すでに相談を受け付けている市町村も。今すぐ教育委員会へ

11月中旬～

文化活動支援助成事業(県文化芸術振興会)

11月中旬に告知、受付は1月上旬～2月上旬の見込み

※日付・内容は変わることがあります。申請前に必ず各制度の最新の募集要項を確認してください。

1年間の募集カレンダー

例年の募集時期の目安です。色のついた月に募集があります。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
那覇市 継承発展補助事業	■	■		■	■							
伝統芸能文化復元・活性化プログラム	■	■	■									■
コミュニティ活動促進事業	■	■	■									
沖縄アーツカウンシル 創造発信支援	■										■	■
琉球歴史文化コンテンツ創出支援		■	■									
松尾芸能振興財団		■	■									
全国税理士共栄会文化財団			■	■	■	■	■					
コミュニティ助成(市町村経由)				■	■	■						
三菱UFJ信託地域文化財団					■	■	■	■				
県 文化芸術活動の充実及び活用補助金						■	■					
芸術文化振興基金							■	■				
三井住友海上文化財団(国際交流)							■	■				
明治安田 地域の伝統文化分野助成							■	■	■			
伝統文化親子教室事業							■	■	■	■		
地域文化財総合活用推進事業(市町村)								■	■	■		
県立芸術大学芸術振興財団									■	■	■	
文化活動支援助成事業(県振興会)								■	■	■	■	
ポーラ伝統文化振興財団											■	■

■ 募集・受付の時期

■ 告知・説明会・事前相談の時期

□ いま(10月)

※年度によって時期が前後します。松尾芸能振興財団・全国税理士共栄会文化財団・明治安田・芸術文化振興基金などは、募集した翌年度の活動が対象です。

沖縄県内の制度(1)

県や県内の団体が行っている制度です。まずはここから見てみましょう。

はじめてでも

文化活動支援助成事業

公益財団法人 沖縄県文化芸術振興会

こんな団体に	公演・発表会などを行う県内の文化団体
金額の目安	上限30万円(対象経費から収入を引いた額)
募集の時期	11月中旬に告知 → 1月上旬～2月上旬に受付(例年)
申請のしかた	申請書(Excel)をパソコンで作成して提出。手書き不可

検索: 沖縄県文化芸術振興会 文化活動支援助成
<https://note.com/josei okinawa>

はじめてでも

コミュニティ活動促進事業

公益社団法人 沖縄県地域振興協会

こんな団体に	地域のコミュニティ活動として芸能に取り組む団体
金額の目安	協会の募集要項による
募集の時期	4月下旬～6月上旬(例年)
申請のしかた	協会の募集要項にそって申請

検索: 沖縄県地域振興協会 コミュニティ活動促進事業
<https://oflp.jp/>

準備すれば届く

芸術文化活動助成事業(地域社会の芸術文化活動)

公益財団法人 沖縄県立芸術大学芸術振興財団

こんな団体に	県内で公演・発表などを行う団体・実行委員会
金額の目安	財団の規程による
募集の時期	12月頃に募集要項を公表、1～2月に締切(見込み)
申請のしかた	募集要項の様式で申請

検索: 沖縄県立芸術大学芸術振興財団 助成
<http://okigeizaidan.org/>

準備すれば届く

沖縄文化芸術の創造発信支援事業

沖縄アーツカウンシル(沖縄県文化芸術振興会)

こんな団体に	団体の体制を強くしたい、新しい発信に挑戦したい県内の団体・個人事業主
金額の目安	団体 上限500万円(補助率は1年目90%から段階的に下がる)
募集の時期	2月下旬に公表 → 4月中旬に受付(例年)
申請のしかた	事前相談のうえ持参・郵送。毎月の相談会も利用できる

検索: 沖縄アーツカウンシル 創造発信支援事業
<https://www.okicul-pr.jp/oac/grants/>

沖縄県内の制度(2)・市町村の制度

市町村の制度は、その市町村に拠点がある団体が対象です。お住まいの市町村にも独自の制度がないか、役場に聞いてみましょう。

準備すれば届く

沖縄県文化芸術活動の充実及び活用補助金

沖縄県 文化振興課

- | | |
|--------|--------------------------------------|
| こんな団体に | 2か年の取組を計画している県内の文化芸術団体 |
| 金額の目安 | 定額。1年目上限500万円・2年間で上限1,000万円(令和8年度公募) |
| 募集の時期 | 9月中旬～10月中旬(今年度は10月16日正午締切) |
| 申請のしかた | 持参・郵送。毎年テーマが変わるので募集要項を必ず確認 |

検索: 沖縄県 文化芸術活動の充実及び活用補助金

<https://www.pref.okinawa.jp/bunkakoryu/bunkageijutsu/1009627/1041456.html>

体制が整ってから

琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業

沖縄県(事務局は毎年度委託)

- | | |
|--------|------------------------------|
| こんな団体に | 芸能を観光・映像などのコンテンツとして事業にしたい団体 |
| 金額の目安 | 新規: 対象経費の3/4・上限400万円 |
| 募集の時期 | 5月中旬～6月中旬(例年) |
| 申請のしかた | 他の産業との連携が条件。決算書類3年分・納税証明書が必要 |

検索: 琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業

<https://okinawa-jtb.co.jp/ryukyu-rekibun/application/index.html>

はじめてでも

那覇市 伝統芸能文化の継承発展補助事業

那覇市 市民文化部 文化振興課

- | | |
|--------|---------------------------------------|
| こんな団体に | 那覇市内に拠点がある民俗芸能の保存・継承団体(活動実績1年以上・規約あり) |
| 金額の目安 | 予算の範囲内(対象経費の4/5以内) |
| 募集の時期 | 年2回: 4月中旬～5月下旬／7月下旬～8月下旬(例年) |
| 申請のしかた | 市の文化振興課へ持参または郵送 |

検索: 那覇市 伝統芸能文化の継承発展補助事業

[那覇市 R8募集要項\(PDF\)](#)

はじめてでも

うるま市 伝統芸能・民俗芸能伝承活動事業補助金

うるま市 文化課

- | | |
|--------|---------------------------------|
| こんな団体に | うるま市内に事務所と活動の場をもつ保存会・自治会 |
| 金額の目安 | 予算の範囲内(市の交付要綱による) |
| 募集の時期 | 市の年度予算にもとづく。時期は市の文化課へお問い合わせください |
| 申請のしかた | 市の文化課へ相談のうえ申請 |

検索: うるま市 伝統芸能 民俗芸能 伝承活動事業補助金

https://www1.g-reiki.net/uruma/reiki_honbun/r170RG00002205.html

国の制度(1)

国の制度は、市町村の教育委員会を通じて申請するものがあります。市町村の締切は国より早いので注意しましょう。

はじめてでも

伝統文化親子教室事業

文化庁

こんな団体に	子どもたちに伝統芸能の稽古を続けている団体
金額の目安	教室実施型: 上限30～50万円(参加する子どもの人数による・10人以上)
募集の時期	10月下旬～12月頃(例年)。令和9年度分はまもなく
申請のしかた	令和9年度分から事務局へ直接・オンライン申請に変わる予定

検索: 文化庁 伝統文化親子教室事業

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/joseishien/oyako/index.html>

準備すれば届く

地域文化財総合活用推進事業(地域伝統行事・民俗芸能等)

文化庁(市町村教育委員会を通じて申請)

こんな団体に	長く続く伝統行事・民俗芸能の保存会
金額の目安	対象経費の最大85%(用具の修理・新調、後継者養成、記録づくり)
募集の時期	市町村の締切は12月～1月頃(例年)。すでに相談を受け付けている市町村も
申請のしかた	市町村教育委員会へ。市町村の締切は国より早いので早めに相談

検索: 文化庁 地域文化財総合活用推進事業

[文化庁 地域文化財総合活用推進事業](#)

準備すれば届く

芸術文化振興基金(民俗文化財の保存活用活動)

独立行政法人 日本芸術文化振興会

こんな団体に	民俗芸能の公演・記録づくり・保存伝承に取り組む団体
金額の目安	活動内容により変わる
募集の時期	令和9年度分: 10月30日～11月12日(応募相談は10月29日まで)
申請のしかた	Webの受付フォームから申請(団体登録は不要に)

検索: 芸術文化振興基金 令和9年度 募集

<https://www.ntj.jac.go.jp/grant/bosyuu/2026/>

準備すれば届く

芸術文化振興基金(伝統工芸技術・文化財保存技術)

独立行政法人 日本芸術文化振興会

こんな団体に	衣装・道具をつくる技術など、芸能を支える技術を受け継ぐ団体
金額の目安	活動内容により変わる
募集の時期	令和9年度分: 10月30日～11月12日
申請のしかた	Webの受付フォームから申請(民俗文化財とは様式が別)

検索: 芸術文化振興基金 伝統工芸技術

<https://www.ntj.jac.go.jp/grant/program/applicant/03/>

国の制度(2)・市町村を通じて使う制度

準備すれば届く

地域文化財総合活用推進事業(地域文化遺産)

文化庁(市町村を通じて申請)

こんな団体に

複数の団体で実行委員会・協議会をつくって取り組む地域

金額の目安

国の補助(事業の規模による)

募集の時期

市町村の締切は12月～1月頃(例年)

申請のしかた

実行委員会・協議会を組んで市町村へ。1団体だけなら上の民俗芸能等の枠へ

検索:文化庁 地域文化財総合活用推進事業 地域文化遺産
[文化庁 地域文化財総合活用推進事業](#)

体制が整ってから

舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動)

文化庁/日本芸術文化振興会

こんな団体に

全国に発信する大規模な公演を目指す団体

金額の目安

事業の規模により変わる(大規模)

募集の時期

令和9年度分:10月30日～11月12日

申請のしかた

Webの受付フォームから申請。まずは他の制度で実績を

検索:文化芸術振興費補助金 舞台芸術等総合支援事業
<https://www.ntj.jac.go.jp/grant/bosyuu/2026/>

市町村が申請

コミュニティ助成事業(宝くじの助成)

一般財団法人 自治総合センター(申請は市町村から)

こんな団体に

太鼓・三線・衣装・幟などの備品をそろえたい自治会・保存会

金額の目安

一般コミュニティ助成:100万～250万円(定額)

募集の時期

市町村の受付は7～9月頃(例年)

申請のしかた

団体から直接は申請できません。まず市町村の担当課へ相談

検索:自治総合センター コミュニティ助成事業
<https://www.jichi-sogo.jp/lottery/comunity>

市町村が申請

一般財団法人 地域創造の助成(市町村・公立ホールが申請)

- ・ 地域伝統芸能等保存事業:市町村が行う、芸能の映像記録づくりや保存・継承の支援に使えます。
- ・ 地域の文化・芸術活動助成事業:公立ホールなどの自主公演が対象。団体は共催・出演の形で関わります。
- ・ 団体からは申請できません。市町村の締切は例年9月末なので、5～7月までに市町村の文化担当へ相談してみましょう。

検索:地域創造 地域伝統芸能等保存事業 <https://www.jafra.or.jp/project/tradition/03.html>

民間財団の制度(1)

民間財団の多くは、団体から直接申請できます。記録づくりや後継者育成に使いやすい制度が多くあります。

準備すれば届く

無形の伝統文化に関する助成

公益財団法人 ポーラ伝統文化振興財団

こんな団体に	記録づくり・後継者育成・調査研究に取り組む団体・個人
金額の目安	1件30～200万円程度
募集の時期	2月1日～3月31日(例年・消印有効)
申請のしかた	財団の様式で郵送。推薦は不要。機材購入・人件費・イベント運営費は対象外

検索: ポーラ伝統文化振興財団 助成

<https://www.polaculture.or.jp/promotion/jyoseiapply.html>

準備すれば届く

地域の伝統文化分野助成

公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団

こんな団体に	民俗芸能・民俗技術の後継者育成に取り組む団体・個人
金額の目安	民俗芸能 上限70万円／民俗技術 上限40万円
募集の時期	秋～12月31日締切(翌年度の活動が対象)
申請のしかた	市町村教育委員会などと県の推薦が必要。推薦に1～2か月かかる

検索: 明治安田クオリティオブライフ文化財団 地域の伝統文化

<https://www.meijiyasuda-qol-bunka.or.jp/culture/guide/>

準備すれば届く

松尾芸能振興財団 助成事業

公益財団法人 松尾芸能振興財団

こんな団体に	伝統芸能の継承・普及・創作に取り組む団体・個人
金額の目安	上限100万円(出演料・人件費は対象外)
募集の時期	6月上旬～下旬(例年)。対象は翌年度の活動
申請のしかた	財団ホームページの申請フォームから送信

検索: 松尾芸能振興財団 助成事業 募集要項

<https://matsuo.or.jp/%E5%8B%9F%E9%9B%86%E8%A6%81%E9%A0%85/>

準備すれば届く

伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム

伝統芸能アーカイブ&リサーチオフィス(京都市ほか)

こんな団体に	途絶えた・衰えた芸能の復元に取り組む団体・個人
金額の目安	1件上限70万円
募集の時期	4月1日～6月下旬(例年)
申請のしかた	メールで申請。オンラインの事前相談あり

検索: 伝統芸能文化復元・活性化共同プログラム

<https://traditional-arts.org/2026/03/26/1631/>

民間財団の制度(2)

準備すれば届く

地域文化の振興をめざして(助成)

公益財団法人 全国税理士共栄会文化財団

こんな団体に	地域の伝統芸能・芸術などの振興に取り組む団体
金額の目安	原則1件上限50万円
募集の時期	6月～10月31日必着(例年)。対象は翌年度の活動
申請のしかた	申請書をダウンロードして郵送。過去5年に同財団の助成を受けていないこと

検索:全国税理士共栄会文化財団 助成
<http://www.zenzeikyo.com/assist/index.html>

準備すれば届く

文化の国際交流活動に対する助成

公益財団法人 三井住友海上文化財団

こんな団体に	海外公演や海外の団体との交流を行うアマチュアの郷土芸能団体
金額の目安	1件50～100万円(10件程度)
募集の時期	10月1日～11月末(財団必着・例年)
申請のしかた	県の文化担当課を通じて申請(県の締切はさらに早い)

検索:三井住友海上文化財団 国際交流 助成
<https://www.ms-ins-bunkazaidan.or.jp/assist/form/>

体制が整ってから

地域文化財団助成

公益財団法人 三菱UFJ信託地域文化財団

こんな団体に	一定の実績があるアマチュアの伝統芸能・音楽・演劇などの団体
金額の目安	上限の定めなし(近年は20～70万円程度)
募集の時期	8月1日～11月末(消印有効・例年)
申請のしかた	郵送のみ。決算書2年分・過去3年の公演プログラムなどが必要

検索:三菱UFJ信託地域文化財団 助成
<https://www.mut-tiikibunkazaidan.or.jp/>



ほかにも財団の助成はたくさんあります

文化庁の「民間助成財団一覧」では、分野別に民間財団の助成制度を探せます。自分たちの活動に合いそうなものがないか、一度のぞいてみましょう。

検索:文化庁 民間助成財団一覧 <https://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/mecenat/shien/zaidan/>

申請の前に 準備チェックリスト

当てはまるものに✓を入れてみましょう。「まだない」ものが、これからの準備のヒントになります。



規約(会則)と役員名簿がある

ほとんどの制度で最初に求められる書類です。



団体名義の銀行口座がある

個人名義の口座では受け取れない制度がほとんどです。



直近1年の収支報告(決算)がある

手書きの出納帳をまとめたものでも大丈夫です。



直近3年の活動の記録(公演・稽古)がある

写真やチラシが残っていれば十分です。



数か月分の費用を立て替えられる

多くの制度は後払い。ここがいちばんの関門です。



見積書をお願いできる取引先がある

音響・衣装・印刷などの見積書が必要な制度が多くあります。



報告書と写真記録をまとめられる人がいる

活動後の報告が、次の申請の信頼にもつながります。



法人格(一般社団法人・NPO法人など)がある

なくても申請できる制度はたくさんあります。

まだそろっていないけど大丈夫

はじめは、金額が小さく書類の少ない制度(「はじめてでも」のラベル)から。1度採択されて報告書まで出し切る経験が、次の大きな制度への近道になります。

調べ方と相談先

最新の募集情報は、次のページでまとめて確認できます。迷ったら、まず相談してみましょう。

まず見るサイト

しまかる(沖縄県文化情報ポータル)

県内向けの助成金情報がまとまっています。まずはここから。

<https://www.shimacul.okinawa/grant/>

沖縄県文化芸術振興会(note)

文化活動支援助成事業の募集要項・申請書をダウンロードできます。

<https://note.com/josei okinawa>

沖縄アーツカウンシル 補助金情報

創造発信支援事業などの公募情報。毎月の相談会の案内もここに。

<https://www.okicul-pr.jp/oac/grants/>

文化庁 文化財の補助・支援制度

国の制度を横断的に確認できます。

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/joseishien/>

文化庁 民間助成財団一覧

民間財団の助成を分野別に探せます。

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/mecenat/shien/zaidan/>

相談するなら



お住まいの市町村(文化担当課・教育委員会)

市町村独自の制度や、市町村を通して申請する国の制度・宝くじの助成の窓口です。



沖縄アーツカウンシル「ぶんかとはじょきんそうだん会」

毎月開かれている相談会。申請書の書き方なども相談できます。



沖縄県 文化振興課(098-866-2768)

県の補助金や、財団への推薦が必要な制度の相談先です。



このガイドは2026年10月12日時点で公開されている情報をもとにまとめたものです。金額・締切・申請方法は年度ごとに変わります。申請の前に、必ず各制度の最新の募集要項を確認してください。